

1年生の 家庭学習



やることをきめて とりくみましょう！

- よいしせいで、しゅうちゅうしましょう。
- さいごまで、ていねいにやりましょう。
- こまったときは、おうちの人にそうだんしましょう。

おすすめの がくしゅうは…

めいじん
がくしゅう名人に
チャレンジ
してみよう



- ◆じぶんのなまえをかく。
(おてほんをよくみて、ていねいにかきましょう。)
- ◆えんぴつでえをかく。
(はみださないように、いろをぬりましょう。)
- ◆せんをなぞる。
(はみださないように、なぞりましょう。)
- ◆えほんをよむ。
(いろいろなほんをよんでみましょう。)
- ◆ずかんをみる。
(しらないことをしらべてみましょう。)
- ◆おりがみをおる。
(はしとはしをそろえておりましょう。)

そのほかにも、おうちのひととそうだんして、いろいろなことにちょうせんしてみましょう。

参考資料

めあて

基本的な学習習慣を身に付ける

基本的な生活習慣を大切に！

Point



「早寝、早起き」「しっかりと朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「机の上を整頓する」「テレビやゲームなどの時間を決めて守る」等の基本的な生活習慣を身に付けさせることが、家庭学習の土台となります。低学年のうちにしっかりと身に付け確立させていくことが大切です。

温かい励ましを！

Point



低学年の家庭学習には、保護者の支援が必要不可欠です。児童の一番の理解者である保護者ならではの視点で「やったね！」「よくできたね！」などの褒め言葉をかけたり、「こうしたらどう？」「一緒にやってみようか。」などの支援をしてあげたりすることで、児童はさらに学習への意欲を高め、次第に自分から粘り強く取り組むようになります。

家庭に学びの環境を！

Point



児童が学びに積極的になるような学習環境づくりが大切です。例えば、児童にあった本を周りに置いたり、鉛筆削り、はさみ、のりなど学習用具を児童が自分で適切に使えるように配置の工夫をしたりすることで、児童が主体的に学習に取り組むようになります。また、テレビや漫画、ゲームなど、学習中に児童が気になってしまいそうなものはできるだけ遠ざけるようにしてください。

また、家庭での読み聞かせはこの時期の児童に特に有効で、本への興味を広げる、想像力を豊かにする、語彙の拡充や表現力の獲得等に効果が期待できます。